

京都大学大学文書館教員の研究業績（2016年4月～2019年12月）

西山伸教授

【著書】

- ・『京大生・小野君の占領期獄中日記』京都大学学術出版会、2018年〔共編著〕

【論文】

- ・「滝川事件とは何だったのか」（『大阪市立大学史紀要』第9号、2016年12月、51-74頁）
- ・「大学史編纂を考える ―歴史・現状・今後―」（『早稲田大学史記要』第48号、2017年2月、329-355頁）
- ・「戦時期における高等教育機関の在学・修業年限短縮について」（『京都大学大学文書館研究紀要』第15号、2017年3月、19-32頁）
- ・「1943年夏の大量動員 ―「学徒出陣」の先駆として―」（『京都大学大学文書館研究紀要』第16号、2018年3月、1-14頁）
- ・「戦争末期の「学徒出陣」」（『近代日本研究』第35巻、2019年2月、1-26頁）
- ・「京都帝国大学の創立をめぐる ―井上構想の放棄と関連して―」（『京都大学大学文書館研究紀要』第17号、2019年3月、57-66頁）

【その他著作】

- ・「「教育熱心」だった京大 ―戦時下の「コマー」」（『京都大学大学文書館だより』第30号、2016年4月、8頁）
- ・「京大と三高 ―その微妙な関係―」（『京都大学大学文書館だより』第32号、2017年4月、6-7頁）
- ・「図書紹介 天野郁夫著『新制大学の誕生 ―大衆高等教育への道』」（『日本の教育史学』第60集、2017年10月、169-170頁）
- ・「新入生の「宣誓」をめぐる」（『京都大学大学文書館だより』第33号、2017年10月、8頁）
- ・「資料紹介 昭和十七年八月廿一日 日誌」（『京都大学大学文書館研究紀要』第16号、2018年3月、62-102頁）
- ・「大学のアーカイブズで考える」（『現代思想』2018年6月号、100-102頁）
- ・「「分校」とは何だったのか」（『京都大学大学文書館だより』第35号、2018年10月、6-7頁）
- ・「解説 『羽田亨日記』と戦時下の京都帝国大学」（京都大学大学文書館編『京都大学大学文書館資料叢書 1 羽田亨日記』2019年3月、3-16頁）
- ・「『羽田亨日記』の刊行」（『京都大学大学文書館だより』第36号、2019年4月、4-5頁）
- ・「帝国大学の「抵抗」」（『日本歴史』第852号、2019年5月、74-76頁）
- ・「解説」（『東京帝国大学農学部 学徒動員関係史料』不二出版、2019年10月、1-7頁）
- ・「東大路沿いの石垣は尾張藩屋敷時代からのものか」（『京都大学大学文書館だより』第37号、2019年10月、4-5頁）

【学会報告】

- ・「東京音楽学校における学徒出陣の記録について ―京都帝国大学の事例とあわせて―」（日本音楽学会第

67回全国大会、2016年11月13日)

【講演等】

- ・「中川小十郎と京都帝国大学の創立」(立命館創立者・中川小十郎生誕150年記念講演会、2016年10月22日)
- ・「アーカイブズ入門 組織におけるアーカイブズの役割」(第42回全国歴史資料保存利用連絡協議会全国大会及研修会、2016年11月10日)
- ・「自校史教育と学修支援 ―アーカイブズの立場から―」(日本体育図書館協議会2016年度研修会、2017年1月20日)
- ・「『三高』がやってきた ―第三高等中学校の京都移転とその後―」(明治150年京都府の文化・産業再興リレー講座、2018年3月4日)
- ・「制度的側面からみた『学徒出陣』」(東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学主催シンポジウム「今『学徒出陣』をどうとらえるか」、2018年7月22日)
- ・「西田幾多郎在職時の京都帝国大学」(「京都大学の西田幾多郎」講演会、2018年10月21日)
- ・「大学沿革史編纂の現状と意義」(「近畿大学の大学アーカイブズと校史関係資料の収集・整理に関する調査・研究」学内研究会、2019年1月24日)
- ・「大学史編纂の現状と課題 ―特に『京都大学百二十五年史』の編纂について―」(東京外国語大学文書館研究会、2019年3月11日)
- ・「『二番目の大学』として ―京都帝国大学における「大学」像の模索」(西田幾多郎記念哲学館企画展開連イベント「古今京大」、2019年11月16日)

富永望助教

【著書】

- ・吉田裕・瀬畑源・河西秀哉編『平成の天皇制とは何か 制度と個人のはざままで』岩波書店、2017年〔共著〕
- ・谷川穰・白川哲夫編『「甲子園」の眺め方』小さ子社、2018年〔共著〕
- ・河西秀哉・瀬畑源・森暢平編『〈地域〉から見える天皇制』吉田書店、2019年〔共著〕

【論文】

- ・「京大と満洲国―満蒙研究会・満蒙調査会の活動を中心に―」(『京都大学大学文書館研究紀要』第15号、2017年3月、33-52頁)
- ・「戦時期京大の軍事協力―工学部と理学部を中心に―」(『京都大学大学文書館研究紀要』第16号、2018年3月、15-35頁)
- ・「占領期における京大の自然科学研究―緊急科学研究体制から総合研究体制へ―」(『京都大学大学文書館研究紀要』第17号、2019年3月、15-33頁)

【その他著作】

- ・「昭和天皇の水族館見学」(『京都大学大学文書館だより』第31号、2016年10月、8頁)
- ・「その研究は役に立つのか?」(『京都大学大学文書館だより』第34号、2018年4月、8頁)
- ・「書評 茂木謙之介著『表象としての皇族―メディアにみる地域社会の皇室像』」(『歴史評論』第821号、

2018年9月、94-98頁)

- ・「歴史の眼 新天皇徳仁の天皇像」(『歴史評論』第835号、2019年11月、50-58頁)

【講演等】

- ・「象徴天皇制の“これまで”と“これから”」(京都商工会議所常議員会、2019年2月26日)
- ・「これからの象徴天皇制とは」(小田市民大学、2019年6月19日)

元ナミ助教

【著書】

- ・『公文書をアーカイブする ―事実は記録されている―』大阪大学出版会、2019年〔共著〕

【論文】

- ・「地方公文書館の運営目的に関する事例調査 ―日本、イギリス、アメリカを比較して」(『京都大学大学文書館研究紀要』第15号、2017年3月、53-73頁)
- ・「アメリカ州立公文書館におけるNHPRC基金の活用」(『京都大学大学文書館研究紀要』第17号、2019年3月、67-82頁)

【その他著作】

- ・「企画展紹介：京都大学における女性 ―帝国大学時代から1950年代まで―」(『京都大学大学文書館だより』第31号、2016年10月、4-5頁)
- ・「『雪山賛歌』と「エルダー先生」」(『京都大学大学文書館だより』第32号、2017年4月、12頁)
- ・「リスボン市公文書館 (Arquivo Municipal de Lisboa, Arco do Cego) 見学記」(『京都大学大学文書館だより』第32号、2017年4月、8-9頁)
- ・「1937年の世界記録会議」(『京都大学大学文書館だより』第35号、2018年10月、12頁)
- ・「東北大学史料館での評価選別作業研修」(『東北大学史料館だより』No.30、2019年3月、4-5頁)
- ・「5 韓国編」(『アーキビスト養成・認証制度 調査報告書』国立公文書館、2019年11月、67-83頁)

【学会発表】

- ・「イギリスにおける地方公文書館の創設と現在の課題：ベッドフォードシャー (Bedfordshire) の事例を中心に」(日本アーカイブズ学会2016年度大会、2016年4月24日)
「アメリカにおける地方公文書館の創設と現在の課題 ―アラバマ州の事例を中心に―」(記録管理学会2016年研究大会、2016年5月28日)
- ・「Processing a Wealth of Digitized Objects with Limited Resources: Steps for Success in U.S.-Japan Collaborative Project」(International Congress on Archives, ICA Congress 2016、2016年9月8日)
- ・「地方公文書館における活動資金獲得の経緯と課題 ―英米の事例を中心に―」(日本アーカイブズ学会2017年度大会、2017年4月22日)
- ・「韓国における「記録管理学」の発展 ―1990年代から現在まで―」(記録管理学会2017年研究大会、2017年6月3日)
- ・「アメリカにおける記録管理と保存体制の成立と発展 ―州立公文書館の創設期から20世紀までを中心に

一」(記録管理学会2018年研究大会、2018年5月19日)

・「イリノイ州における公文書館活動と基金活用」(日本アーカイブズ学会2019年度大会、2019年4月20日)

【講演等】

・「アーカイブズとは何か ―公文書館の仕事―」(ku-librarians 勉強会第209回、2016年12月20日)

・「大邱と京都：地域研究とアーカイブズ」(大邱と京都：地域研究とアーカイブズセミナー、2017年4月18日)

・「UNHCR登録局資料Fonds11／シリーズ3／001整理と研究 ―国際機関アーカイブ整理プロジェクト報告会―」(海外アーカイブ・ボランティアの会、2017年11月6日)

・「アーキビストと考える京都大学のアーカイブズ〈2〉 ―大学文書館での実務を例に―」(第94回京都大学総合博物館セミナー、2018年6月8日)

・「Omeka チュートリアル」(デジタルアーカイブ学会第3回研究大会、2019年3月15日)

・「大学史料館の運営 ―京都大学の場合―」(延世大学校医学大学医学史研究所月例発表会、2019年5月27日)

・「2019年UNHCRアーカイブ整理作業対象について」(海外アーカイブ・ボランティアの会、2019年11月27日)

久保田裕次助教 (2017～2018年度)

【著書】

・京都大学文学部日本史研究室編『吉田清成関係文書七一書翰篇5・書類篇3―』(京都大学史料叢書) 思文閣出版、2018年10月〔共編〕

【論文】

・「京都帝国大学と東方文化事業―教員の海外派遣を中心に―」(『京都大学大学文書館研究紀要』第16号、2018年3月、37-59頁)

・「満蒙政策と政友会―大正期における野田卯太郎と山本条太郎―」(『日本史研究』666号、2018年3月、131-158頁)

・「第一次世界大戦期の勝田主計―正貨問題・「日支親善」・戦後構想―」(『東アジア近代史』第22号、2018年6月、6-28頁)

・「国際関係中的漢冶萍公司―以日本の動向為中心―」(尚平・張強主編『第二届漢冶萍国際学術研討会論文集(中国・武漢)』武漢出版社、2018年11月、308-318頁)

・「近代日本与萍郷煤砒」(『第三届漢冶萍国際学術研討会(中国・萍郷)論文集』2018年11月、281-292頁)

・「大東亜学術協会の設立と活動」(『京都大学大学文書館研究紀要』第17号、2019年3月、35-55頁)

【その他著作】

・「近代日中関係史と「語り」」(『三井文庫論叢別冊 私の一点』、2017年5月、96-97頁)

・「外交(明治～第一次大戦)」(『史学雑誌 回顧と展望―2016年の歴史学会―』、2017年6月、160-163頁)

・「小林一三のハガキ」(『日本歴史』第837号、2018年2月、73-75頁)

・「国立大学法人化後の大学沿革史—記述内容の特徴を中心に—」（『京都大学大学文書館だより』第34号、2018年4月、4-5頁）

・「九州製鋼株式会社の委託経営問題—「製鉄合同」と安川・松本家—」（平成28年度～平成30年度科学研究費助成事業（科学研究補助金）基盤研究（C）課題番号16K03067、科研成果報告書『近代日本における企業家ネットワークの形成』2019年3月、56-70頁）

【学会発表】

・「第一次世界大戦期の勝田主計—正貨問題・「日支親善」・戦後構想—」（2017年度第22回東アジア近代史学会研究大会シンポジウム、2017年6月18日）

・「満蒙政策と政友会—大正期における野田卯太郎と山本条太郎—」（2017年度日本史研究会大会、2017年10月8日）

・「「西原借款」とは何だったのか—実態と言説—」（第2回東アジア日本研究者協議会大会、2017年10月28日）

【講演等】

・「近代日本与萍郷煤砒」（第三届漠冶萍国際学術研討会（中国・萍郷）、2018年11月2日）

川口朋子助教（2019年度）

【その他著作】

・「戦争末期のキャンパス—木造建物の取り壊し—」（『京都大学大学文書館だより』第37号、2019年10月、8頁）

【講演等】

・「大学での「学び」とは何か」（福岡県立筑紫高等アカデミックツアー、2019年8月6日）

・「京都と戦争② 空襲」（NHK文化センター京都教室、2019年8月24日）